

組合だより

アンケート速報 第122号 3月5日 2009年	発行所 岡山大学職員組合 〒700-8530 岡山市津島中2-1-1 電話 086-252-1111 (代) (内線) 7168 直通・FAX 086-252-4148
-----------------------------------	---

岡山大学職員組合 <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

教員アンケートより 集計速報！！

アンケートから見える教員の気持ち

皆様のご意見をお聞かせください。採用された方には薄謝を差し上げます。

全大教は、全国の国公立大学・高専・全国共同利用期間の教員を対象に、教員の研究・教育環境や、勤務条件の実情を把握し、その改善を図ることを目的とし、2008年5月～10月にアンケートを実施しました。岡山大学職員組合では、その中から、岡大教員回答分（207人）だけを抽出してもらいました。非組合員の方90人を含め207人の方々からの回答を頂き、ありがとうございました。ここに、集計結果を発表させていただきます。皆様のご意見をお聞かせください。なお、自由記述にも貴重なご意見が寄せられています。今後、検討させていただきます。

研究・教育費の減少

法人化後のいわゆる校費が50万円以下の人が3分の2を超え、「かなり減った、校費では必要な研究・教育が行えない」と答えた人、100万円以上の校費を必要としている人がそれぞれ60%を超えている。校費の減少を外部資金（平均250万円余り）で補い、研究を行っている姿が明らかになっているが、これでは「以前の水準を維持できない」「危機的状況」と答えた人が60%を超えている。



会議や書類作成が増え

研究時間を圧迫されている

授業担当は11コマ以上の方が15%程もいて、「法人化後激増しており、研究者としてのアイデンティティが危機に瀕している」6.3%を含め、約40%の人が「研究時間を圧迫されている」。研究教育以外の仕事についても、「法人化後激増しており、研究者としてのアイデンティティが危機に瀕している」17.4%を含め、約70%の人が「研究時間を圧迫されている」と答えている。研究教育以外の仕事の分担には「不公平がある」と感じている人が80%を超え、とりわけ「有能な教員に多くの負担が強いられている」ことを指摘する声が3分の1を超えていることが印象的である。



サバティカルリーフ

土日ほとんど休まない教員20%を始め、70%以上が半分以上休んでいないのは、研究熱心な教員の実情から予想されたこととはいえ、組合の立場からは複雑な気持ちである。裁量労働制で平日は朝5時から夜10時までではどんな働き方をしてもいいが、夜間と土日は裁量労働の範囲外で、部局長の許可なく働くことは認められていない（その証拠に勤務状況報告書では土日の勤務時間を記入するようにはなっていない）。教員の置かれている競争的環境からやむを得ないこととはいえ、健康を損なうことのないよう切に祈るしかないのだろうか。それにしても、見なし労働時間が8時間（4月からは7時間45分）

というのは全く実情を無視しており、国が安上がりに教員を働かせていることには怒りを覚える。80%以上の方がサバティカルリーフをとりたいとしており、研究に専念したいという教員の気持ちが如実に表れているようである。



昇任が不透明

40%以上の方が切実な問題として「昇任が困難もしくは見通しが不透明」なことを挙げている。法人化以前との比較ができないので法人化によるものとは即断できないが、欠員不補充などの影響もあると思われ、教育や研究への意欲をそぐことにならないようにする必要がある。

競争的環境の下での多忙化—大きなストレスに—

現在メンタルヘルス上の不安を抱えている人が40%、7人中1人がうつ病の不安を覚え、脳梗塞や心筋梗塞などの不安をもつ人が7%以上もいるというのは予想を超える数字で、競争的環境の下での多忙化が教員にいかにか大きなストレスを与えているかを雄弁に語っている。多くの教員が感じている「基盤的経費の削減」「多忙化・ゆとりがない」「連帯意識の希薄化」「教員不補充」など法人化による問題が全てストレスの原因となっていることがうかがえる。

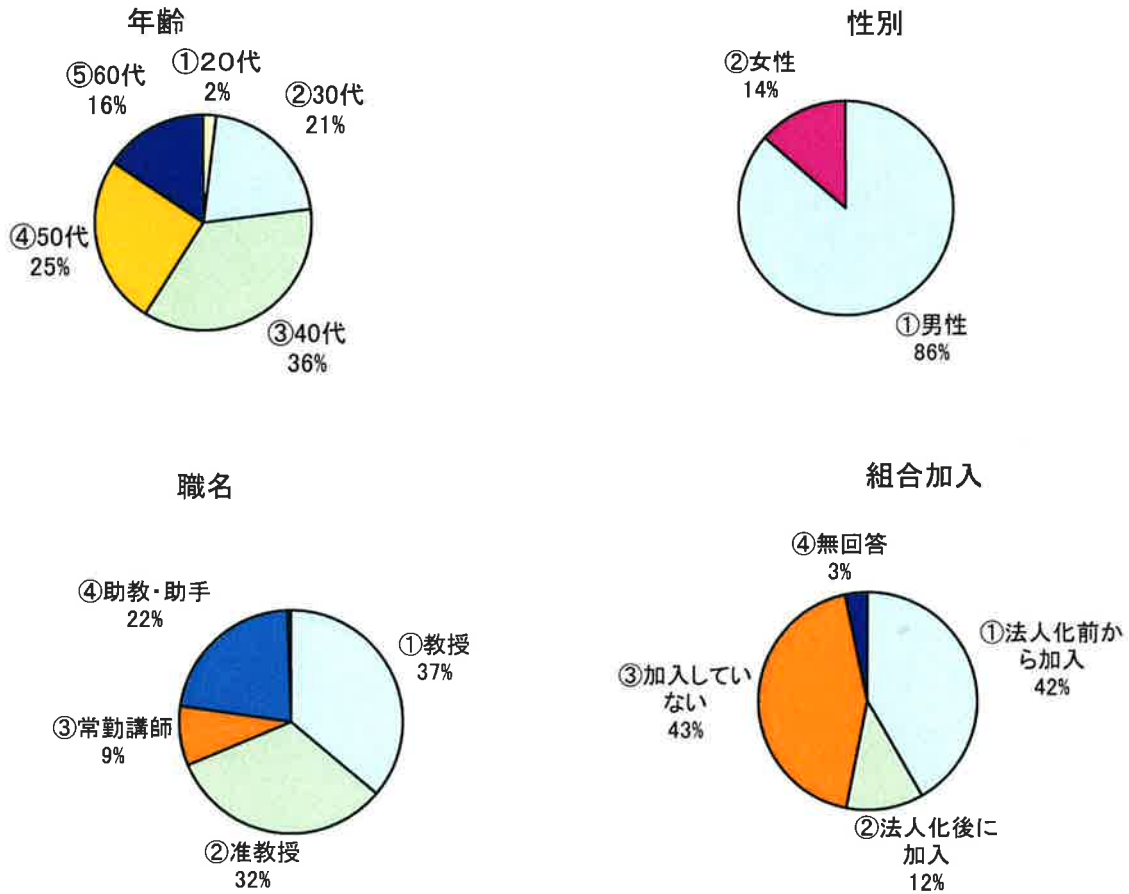
組合に入らない理由

非組合員の方が組合に入らない理由はいくつに「メリットを感じない」「活動内容に不満」「組合費が高い」「雇用期間が短い」「きっかけがなかった」などとなっている。「メリット」「活動内容」「組合費が高い」については、組合活動についてもっと知って欲しいと思うと同時に、皆さんの意見を聞いて改善すべきは改善したい。是非、組合に入って一緒に考えていただきたい。「雇用期間が短い」パートの方の待遇は正規職員と較べてもとくに悪いので組合はその改善を要求しているが、パート労働者自らが組合に加入して取り組むことを期待する。

(8頁につづく)

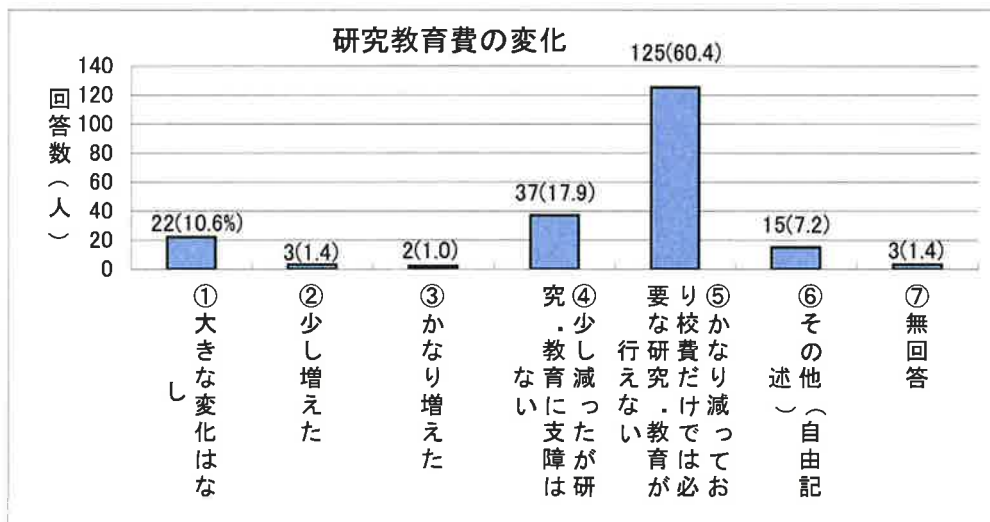
教員アンケート08
集計(207人)

1 あなたの年齢、性別、職名、領域などを教えてください。

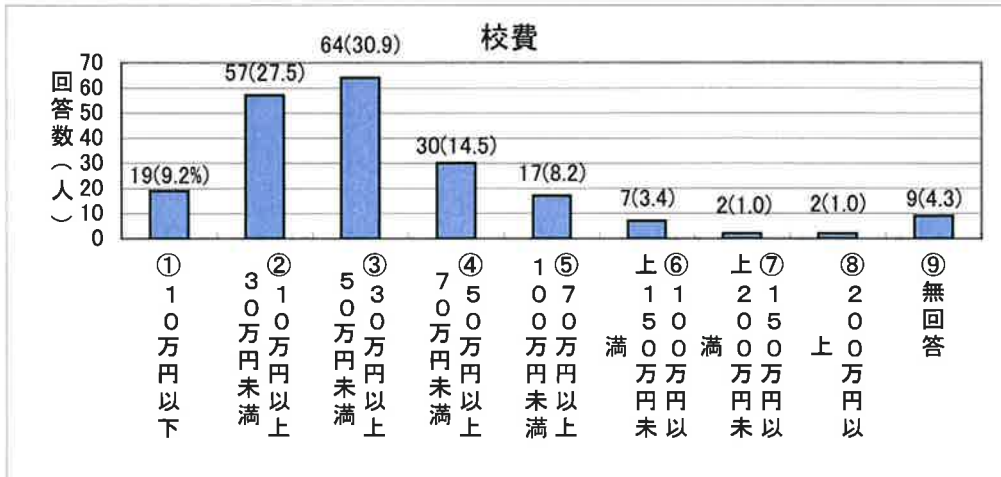


2 研究・教育費についてお尋ねします。

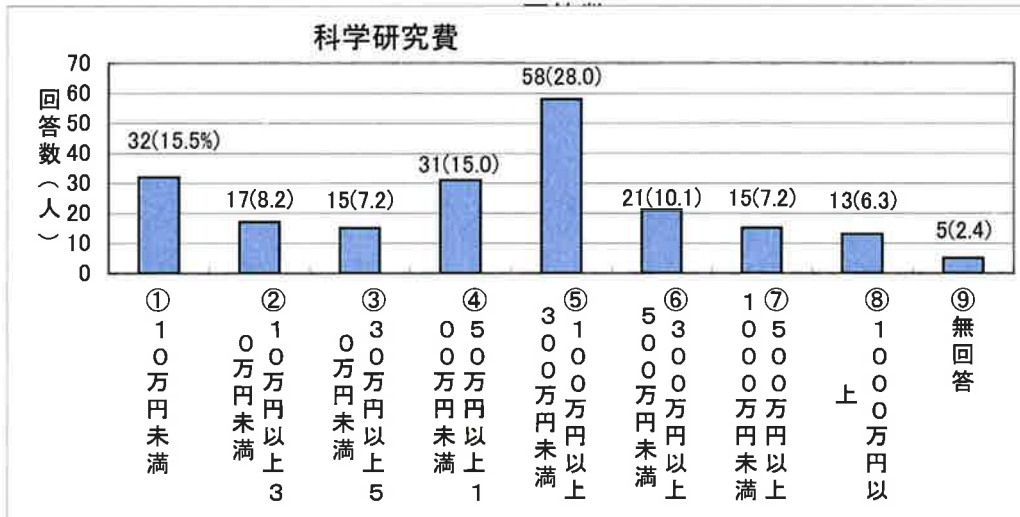
- 1 法人化後の研究教育費（基礎基礎的経費である「校費」のみ、競争的経費、外部資金を除く）の変化についてお尋ねします。
(勤続4年未満の方は就職以後)



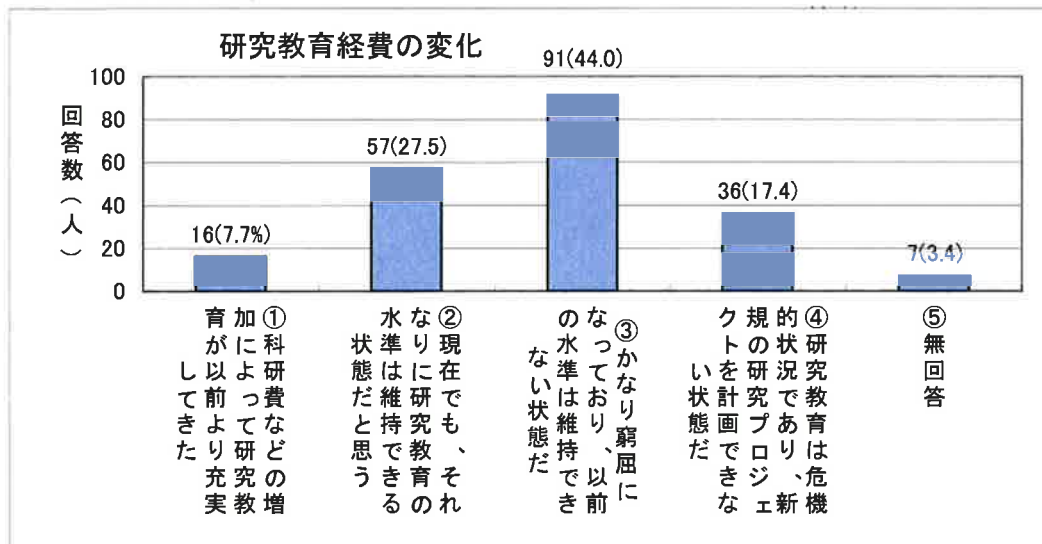
2 「校費」は、当初予算・補正予算・大学院教育経費などを含めて、一人あたり年間いくらですか。



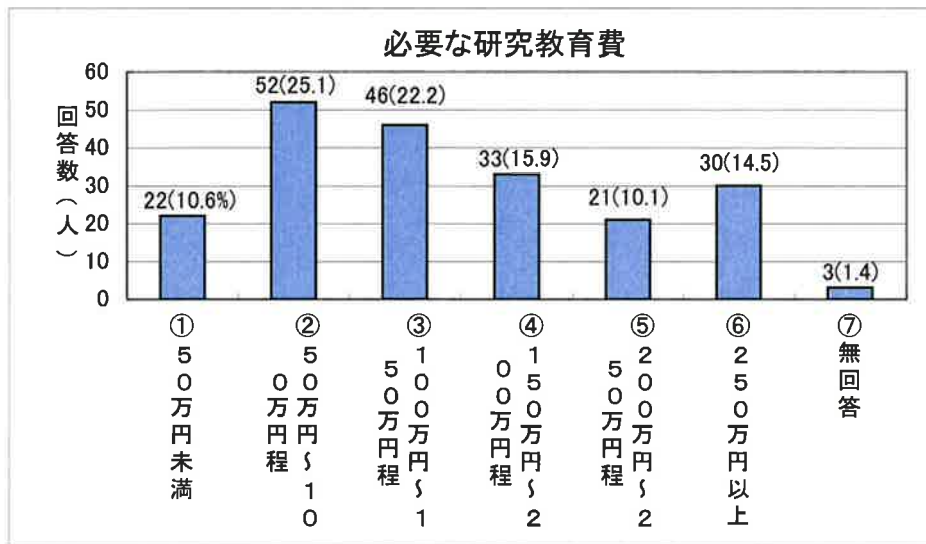
3 科学研究費など（外部資金、COE, GP, 学長裁量経費）、獲得した年間研究教育費を法人化以降4年ほどで平均してみると一年あたりいくらになりますか。（勤続4年未満の方は就職以後）



4 競争的資金、外部資金を含め研究教育経費の変化をどのように受け止めていらっしゃいますか。

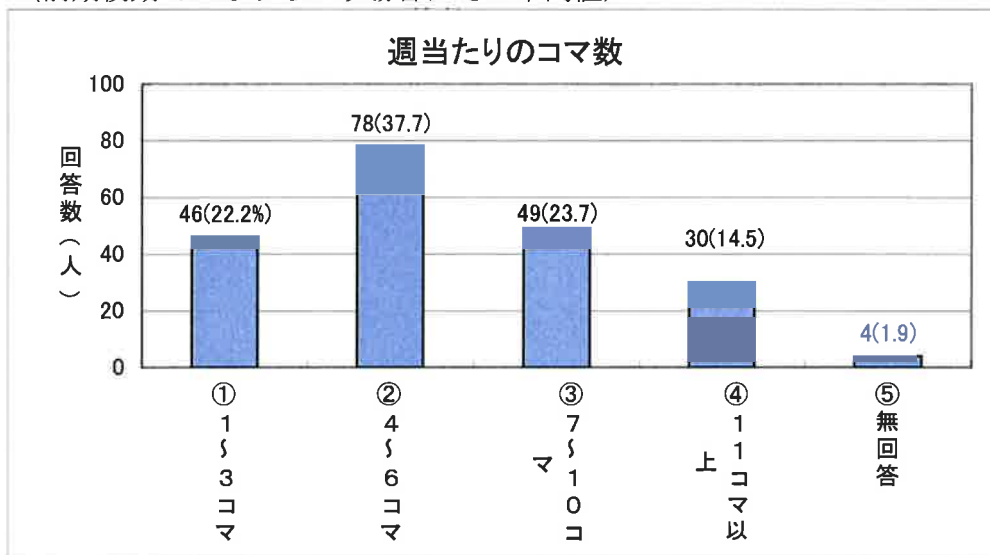


5 あなたが年間必要な研究教育費についてお尋ねします。
 (基礎基礎的経費である「校費」のみ、競争的経費、外部資金を除く)

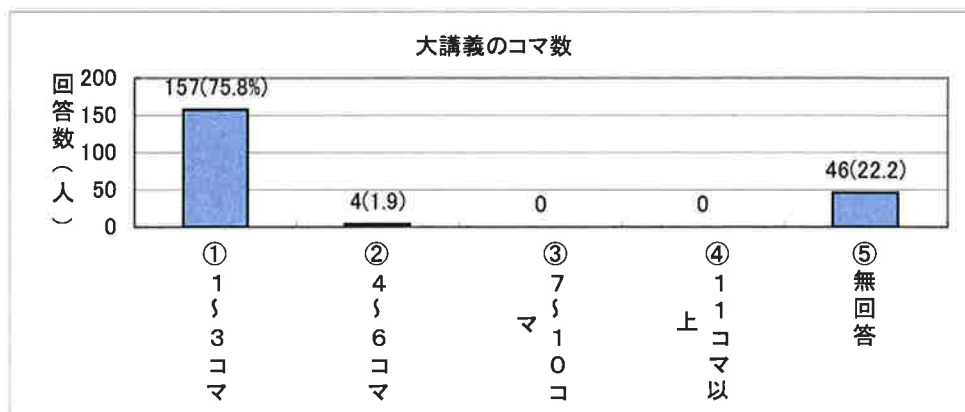


3 担当する授業についてお尋ねします。

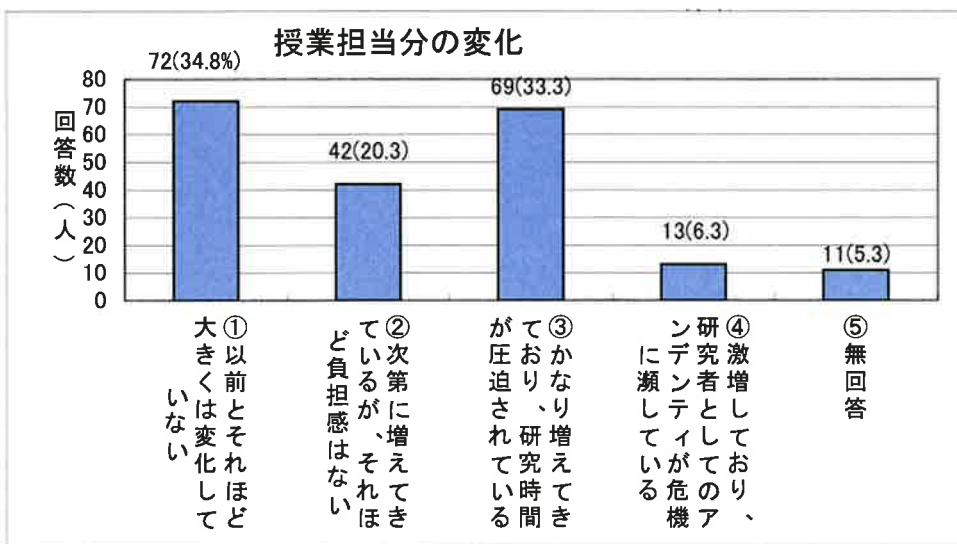
- 1 担当する学部・大学院の講義・ゼミ・実験・論文指導などをすべて、週あたりに均すと、何コマぐらいになりますか。
 (前期後期でかなりちがう場合はその中間値)



- 2 上記のうち受講生が100人を超えるような大講義は何コマありますか。

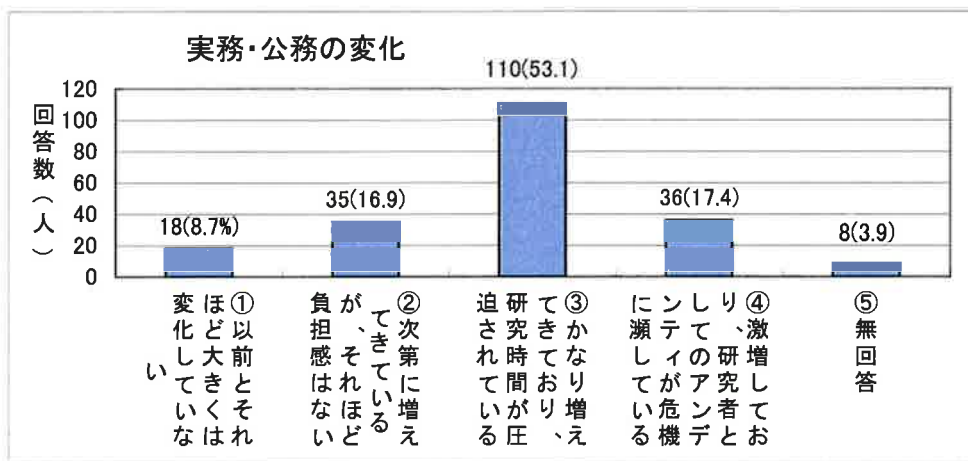


3 こうした授業分担は、法人化以降、どう変化してきましたか。

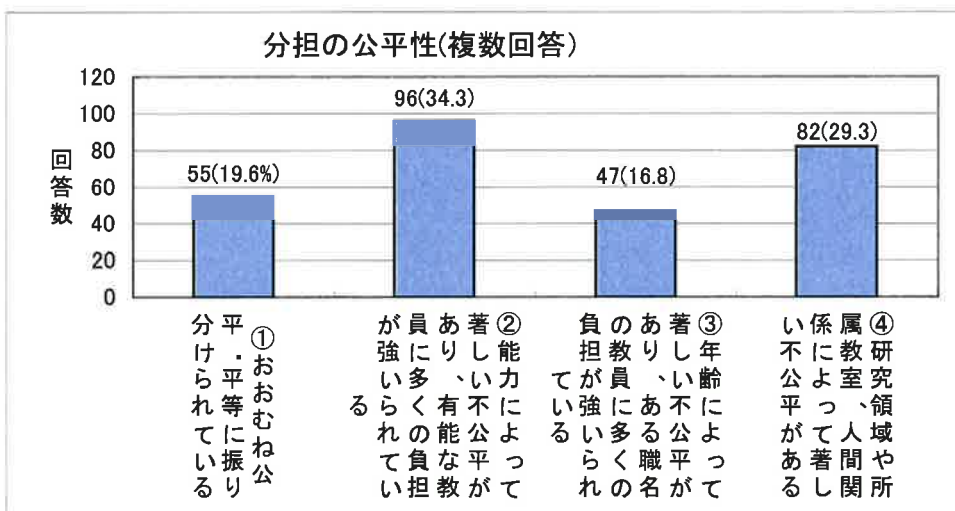


4 学内実務・社会貢献活動についてお尋ねします。

- 1 会議や書類作成（評価、外部資金等の書類作成）、研究教育以外の公務（高校・企業回り等）などは、法人化以降、どう変化してきましたか。

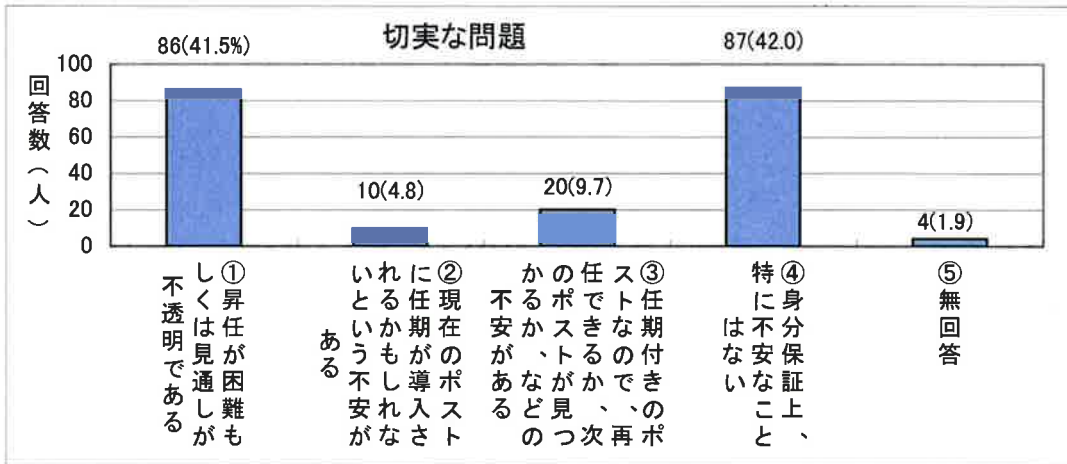


2 こうした実務や学外活動の分担は公平に行われていますか（複数回答可）

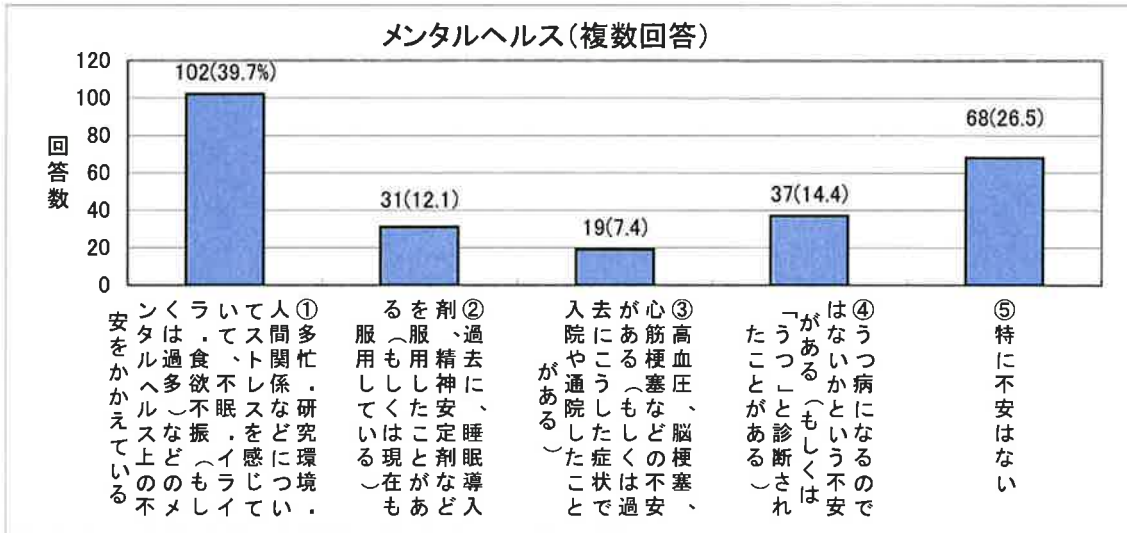


7 教員の身分保障・健康についてお尋ねします。

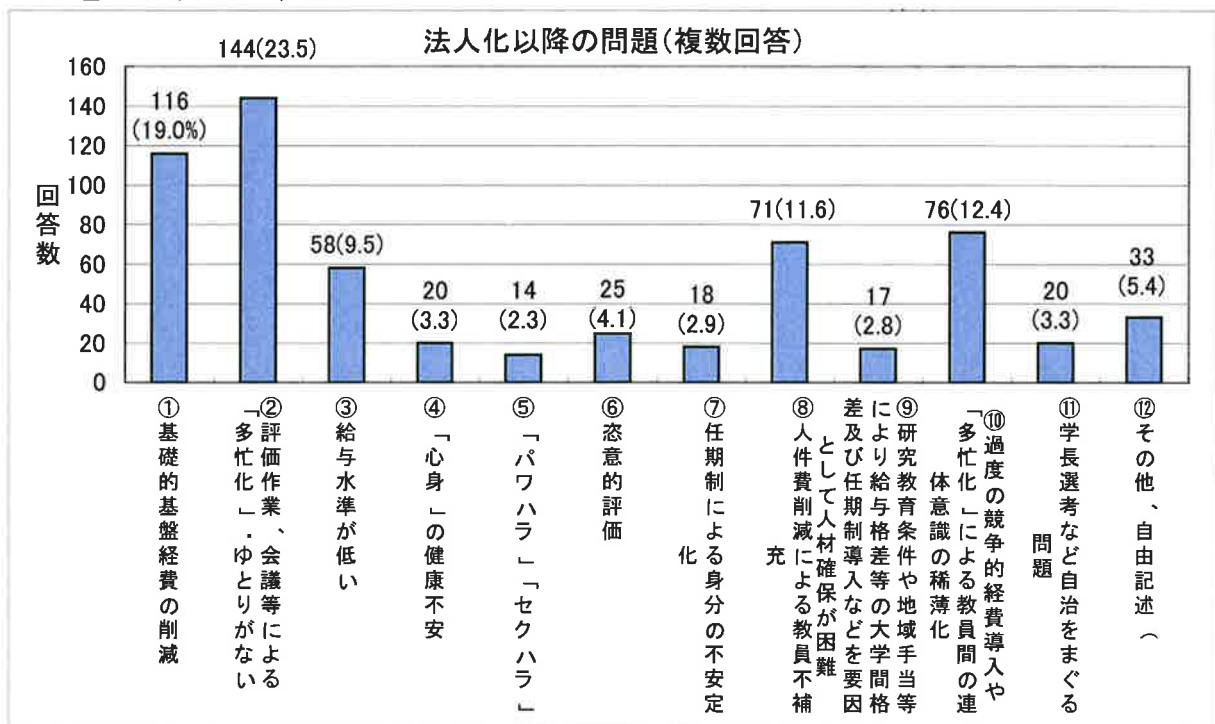
1 以下の中でご自身にかかる問題でもっとも切実な問題をあげてください。



2 メンタルヘルスについて伺います。次のうち、該当するものを挙げてください。(複数回答可)

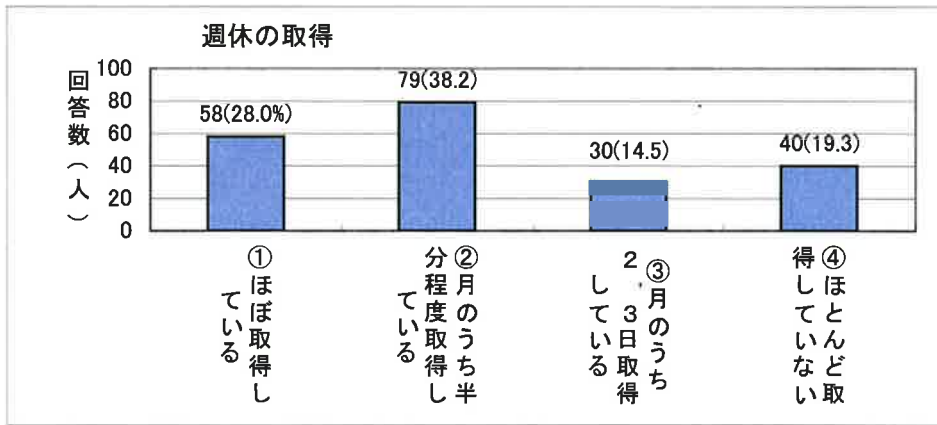


8 法人化以降、特に問題と感じられておられることについてお尋ねします。(3項目まで選んでください)

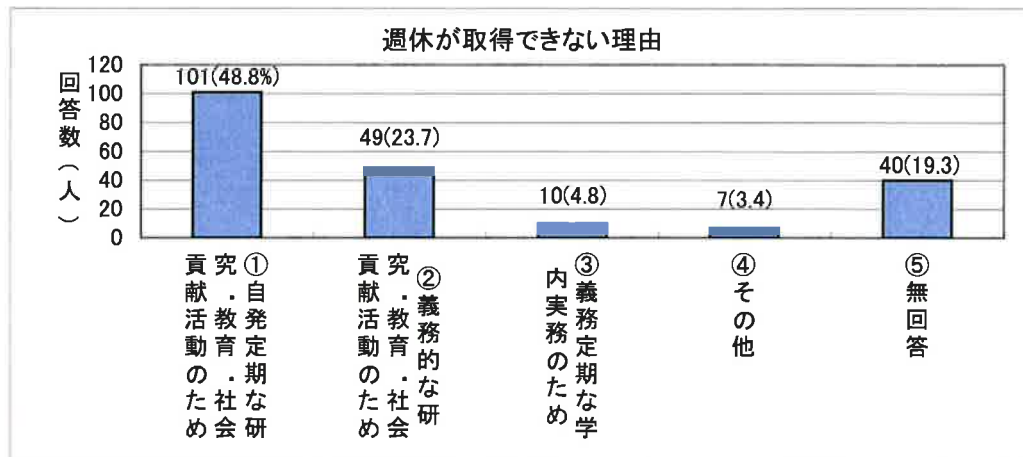


5 休暇についてお尋ねします。

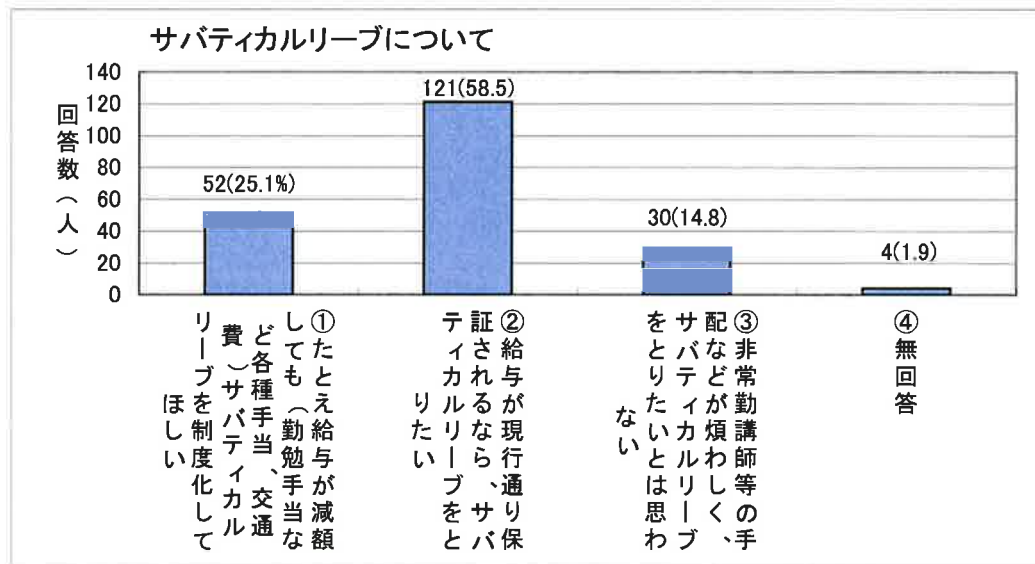
1 週休（土日の休み）は取得していますか。



2 週休が取得できない理由は何ですか。

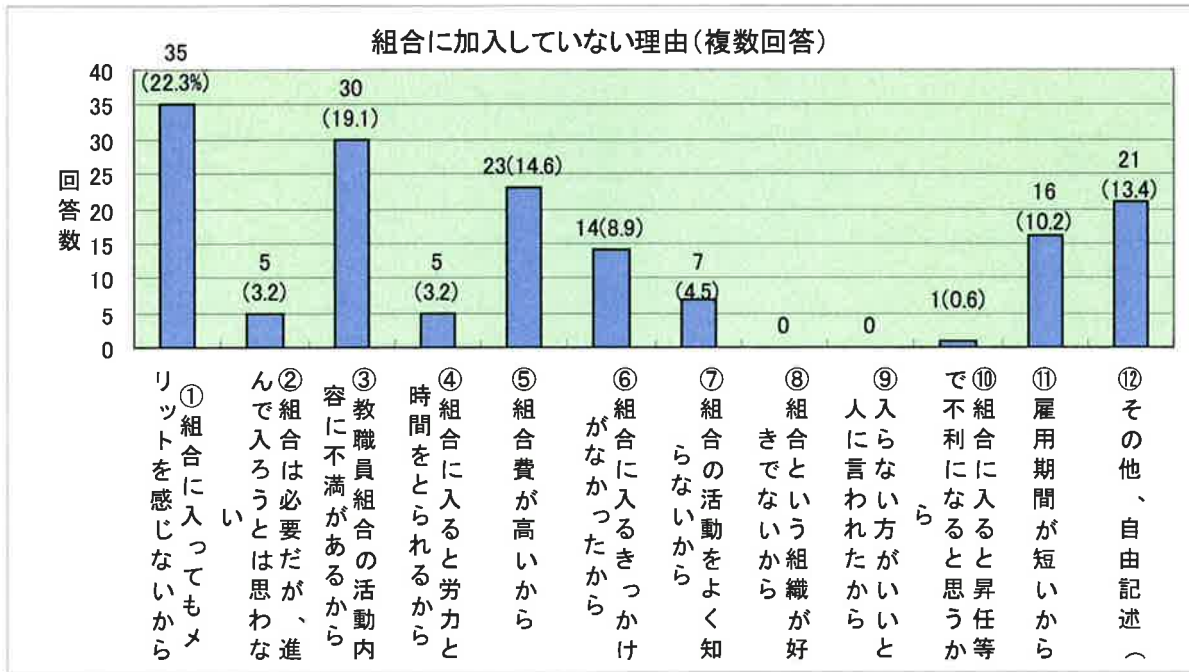


6 サバティカルリープ（研究専念休暇）についてのお考えをお尋ねします。

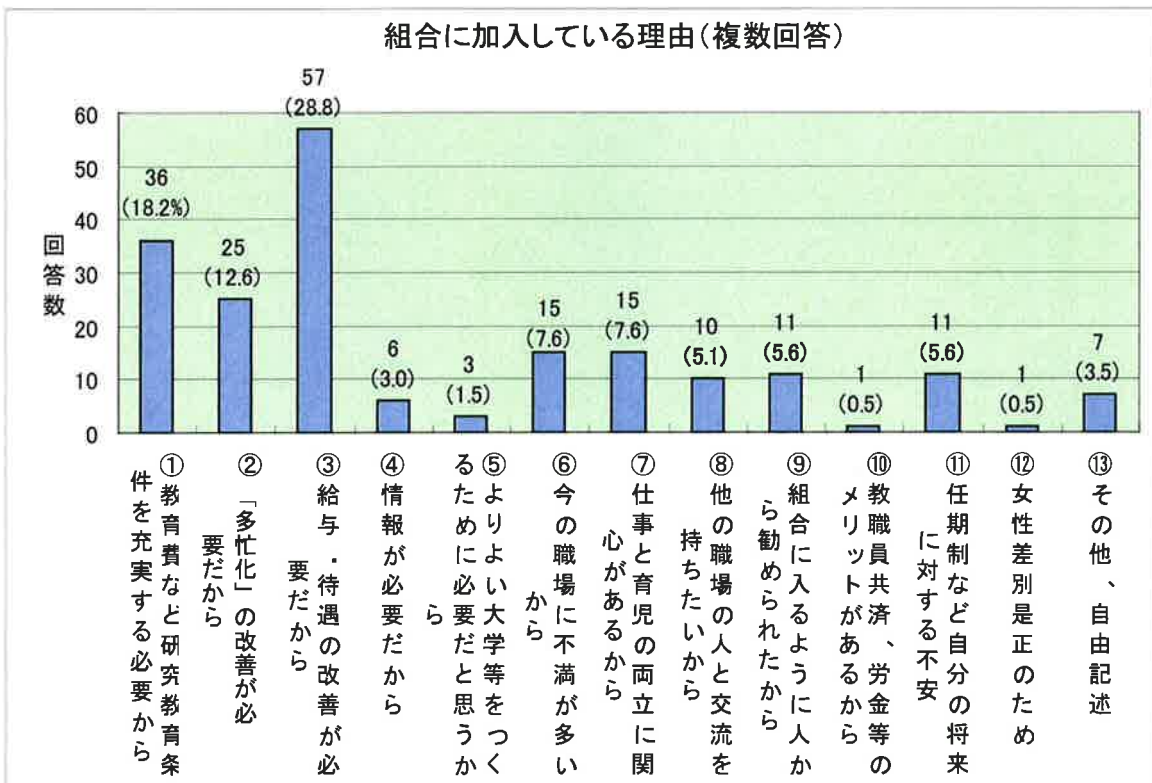


9 組合についてお尋ねします。

1 組合に入らない方にお尋ねします。組合に加入されない理由は何ですか？(複数回答可)



2 組合員の方にお尋ねします。組合に加入されている理由は何ですか。(複数回答可)




(1頁より)

アンケート結果と今後の組合活動

組合員の方々の期待としては「給与・待遇の改善」「研究教育条件の充実」「多忙化の改善」などが多数であるが、前記の回答を見るにつけ、これらに答えられているかという点には内心忸怩たるものがある。個別には成果を挙げている問題もあるが、厳しくなる一方の大学情勢を十分に押し返せていないもどかしさがある。しかし連帯意識の希薄化がストレスを増長しているのを見るにつ

け、組合をもっと大きくすることが、安心できる職場づくりに貢献することになると確信した。



組合では、みなさんのご意見をお待ちしています。匿名もOKです。採用された方には、薄謝を差し上げます。